

3・4年	音楽3年	A 4～5月	題材名『歌って音の高さを感じとろう』 1～6／6					
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 音の高さに気を付けながら、歌ったり、ひいたりしよう。 音の高さに気を付けて、明るい声で歌おう。 楽器と合わせて、明るい声で歌おう。 ※教材「ドレミで歌おう」、「春の小川」、「海風きって」、「せんりつづくり」 「茶つみ」							
活用場面	導入							
活用の仕方	春の自然の様子や茶摘みについて調べる。							
参考図書	(春に関する本) チャの絵本 (5567)							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型		発展型		表現型	

3・4年	音楽4年	A 7月	題材名『ちいきにつたわる音楽に親しもう』 1～3／3					
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 地域に伝わる民謡を聴いたり、歌ったりしよう。 ※教材「こきりこ」							
活用場面	導入・展開							
活用の仕方	地域に伝わる民謡や郷土芸能について調べる。							
参考図書	(日本各地の民謡や郷土芸能の本, 鹿児島为民謡の本)							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○	発展型		表現型	

3・4年	音楽4年	A 10月	題材名『せんりつの重なりを感じ取ろう』 1～7／7					
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 旋律が重なり合うおもしろさを感じ取ろう。 旋律が重なり合う美しさを感じて演奏しよう。 声が重なり合う美しさを感じて歌おう。 ※教材「パレードホッホー」、「ファランドール」、「オーラリー」、「もみじ」							
活用場面	導入							
活用の仕方	もみじや紅葉が載っている写真や本を見て、秋の美しい風景を想像する。							
参考図書	植物 (4514) せんせい! これなあに (6047)							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型		発展型		表現型	



3・4年	音楽3年	A 1 1～1 2月	題材名『いろいろな音のひびきをかんとろう』 1～9 / 9				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・トランペットとホルンの響きに親しもう。 ・重なり合う音の響きを感じ取りながら演奏しよう。 ・「まほうの音楽」を入れて歌おう。 ・音の特徴を生かして音楽をつくろう。 <p>※教材「トランペットふきの休日」、「アレグロ」、「パフ」、 「おかしなすきなまほうつかい」、「まほうの音楽」、 「イルミネーション点灯式で演奏する曲」</p>						
活用場面	導入・展開						
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・金管楽器にはどんなものがあるか調べる。 ・魔法が出てくる物語を読む。 						
参考図書	金管楽器 (5510) とのりのまじよのマジョンナさん (4114)						
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○	発展型		表現型

3・4年	音楽4年	A 1月	題材名『日本の音楽でつながろう』 1～5 / 5				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の楽器に親しもう。 ・5つの音で、旋律をつくろう。 <p>※教材「こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より」、 「津軽じょんがら節」、「ていんさぐぬ花」、「ことをひいてみよう」 「2人でせんりつづくり」、「卒業式の歌」</p>						
活用場面	導入						
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・琴や三味線について知る。 ・日本の楽器や音楽について書かれた本を読んだり、調べたりする。 						
参考図書	日本の図鑑 (6905)						
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型		発展型		表現型

3・4年	音楽4年	A 2月～3月	題材名『曲の気分を感じ取ろう』 1～7 / 7				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の気分を感じ取って歌おう。 ・曲の気分を感じ取って合奏しよう。 ・音楽が表している様子を思い浮かべながら聴こう。 <p>※教材「赤いやねの家」、「ジッパディードウダー」、 「山の魔王の宮殿にて」、「朝の気分」、「卒業式の歌」</p>						
活用場面	導入						
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・お城に関するお話の本を読む。 ・卒業に関係がある本を読んで、様子や気持ちを思い浮かべる。 						
参考図書	お城&宮殿 (7348)						
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型		発展型		表現型

3・4年	音楽4年	B	4月	題材名『音楽で心の輪を広げよう』	1～4／4			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを込めて歌おう。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべながら歌おう。 ※教材「花束をあなたに」、「リズムでなかよくなるろう」、「さくらさくら」 「校歌」、「一年生になったら」、「春の歌」							
活用場面	導入							
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらが載っている本や写真を見て、様子や気持ちを思い浮かべる。 ・歌集の中から友だちや1年生と仲良くなれる歌を選ぶ。 							
参考図書	ウメ・モモ・サクラ (7145) さくら							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型		発展型		表現型	

3・4年	音楽4年	B	4～5月	題材名『歌声のひびきを感じ取ろう』	1～7／7			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・音の高さに気を付けながら、明るい声で歌おう。 ・2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながら聴こう。 ・リコーダーと合わせて明るい声で歌おう。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべながら、のびやかな声で歌おう。 ※教材「いいことありそう」、「パパゲーノとパパゲーノの二重唱」、 「歌のにじ」、「せんりつづくり」、「まきばの朝」							
活用場面	導入・展開							
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・モーツァルトについて知る。 ・牧場について書かれた本を見て、様子を思い浮かべる。 							
参考図書	音楽の伝記 (8083) 音楽家の伝記 (8045) 伝記世界の大作作曲家 (8044)							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○	発展型		表現型	

3・4年	音楽3年	B	9月	題材名『せんりつのとくちょうをかんじとろう』	1～8／8			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる曲の雰囲気を感じ取って歌おう。 ・旋律の音の上がり下がりを感じ取って歌おう。 ・旋律の特徴を生かして演奏しよう。 ・曲の山を感じながら歌おう。 ※教材「うさぎ」、「とどけようこのゆめを」、「あの雲のように」、「ふじ山」							
活用場面	導入							
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の本を読んで、十五夜の様子を思い浮かべる。 ・ふじ山について書かれた本や写真集を読み、様子を思い浮かべる。 							
参考図書	JAPAN (8105) Fujiyama (8103) にっぽんの図鑑 (6905)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	

3・4年	音楽4年	B 1 1～1 2月	題材名『いろいろな音のひびきを感じ取ろう』 1～7 / 7
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 音の特徴を生かして音楽をつくろう。 豊かな響きを味わいながら演奏しよう。 フルートとクラリネットの響きに親しもう。 ※教材「打楽器の音楽」、「茶色の小びん」、「メヌエット」、「クラリネットポルカ」 「イルミネーション点灯式で演奏する曲」		
活用場面	導入・展開		
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> フルート・クラリネット、打楽器について調べる。 クリスマスの本やハンドベルの音楽について書かれた本を読む。 		
参考図書	打楽器・鍵盤楽器 (5511) 木管楽器 (5509)		
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型 ○ 発展型 表現型

3・4年	音楽3年	B 1月	題材名『ちいきにつたわる音楽でつながろう』 1～5 / 5
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 祭りばやしに親しもう。 祭りばやしのとくちょうを感じ取ろう。 3つの音で、おはやしのせんりつをつくろう。 ※教材「祇園囃子」、「ねぶた囃子」、「神田囃子「投げ合い」、「卒業式の歌」 「たいこにちょうせん」、「ラ・ド・レの音でせんりつづくり」		
活用場面	導入・展開		
活用の仕方	日本楽器や祭り囃子、郷土に伝わる音楽について調べる。		
参考図書	打楽器・鍵盤楽器 (5511) にっぽんの図鑑 (6905)		
活用分類	興味・関心喚起型		理解型 発展型 表現型

1～6年	音楽	5月	単元名『こいのぼり』 1 / 4
ねらい	音色、旋律、強弱などと曲想との関わりを生かして、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。		
活用場面	展開・終末		
活用の仕方	1 「こいのぼり」の歌には2種類あることを知る。 2 「5年生の歌は難しいので、歌詞の意味や込められた願いを知るために、紙芝居を見る。」		
参考図書	紙芝居「こいのぼりさんありがとう」(3534)		
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型 ○ 発展型 表現型

